

1 施策の検証、見直しについて

(1) 公共施設使用料等改定の検証

- ① 公共施設の使用料等改定における平成 2 8 年度の使用料の実績において、市民活動振興使用料、社会福祉使用料及び農業使用料について、どのような状況であったのか、部門毎の評価と反省、特徴的な事項は。
- ② 平成 2 8 年度の公共施設使用料等改定の実績全体を振り返って、総合評価、減免措置の評価、スポーツ振興や文化・芸術、イベントや地域活性化等への影響は。
- ③ 激変緩和措置適用施設の使用料金等の見直しなど、今後の使用料金等見直しの考え方は。
- ④ 今回の公共施設の使用料等改定に伴い指定管理者に支払う委託料の減収・増収の対応状況、課題・問題点は。

(2) 資源ごみ持ち去り行為禁止の対応

- ① 平成 2 6 年 4 月から資源ごみ持ち去り行為の抑制、リサイクルシステムの再構築、市民の不安解消のため、罰則規定を盛り込んだ磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例が改正され施行された。条例改正前後から今日まで、資源ごみ持ち去りの通報・目撃・指導の状況、悪質業者の実態、罰則規定の適用状況など、これまでの取り組み状況、評価、課題・問題点は。
- ② 資源ごみ持ち去り行為禁止の施策は、今後、自治会連合会を通じて、環境美化指導員や各自治会の協力を得ながら役割分担を明確にし、市民の理解を得ながら一丸となって取り組む必要があると思うが見解は。
- ③ 資源ごみ持ち去り行為禁止の問題の解決には広域的な連携が必要と思われる。周辺自治体との連携や協力体制は。

(3) 新たな文化芸術振興計画の策定

- ① 平成30年度からの新たな文化芸術振興計画は現在策定中である。現在の文化芸術振興計画の課題・問題点をどのように反映するのか。また、新たな施策をどのように加えるのか。新たな文化芸術振興計画の概要、重点項目等は。
- ② 平成29年6月23日から“文化芸術振興基本法”が“文化芸術基本法”に改正された。その概要と策定中の文化芸術振興計画に及ぼす影響は。
- ③ 磐田市の文化芸術の支援策として「メセナ活動」の導入の考えは。

2 竜洋地区の諸課題について

(1) 竜洋北保育園と竜洋西保育園の再編計画

- ① 再編計画では、「統合・民営による再築」とあり、30年度に法人の公募・決定、31、32年度で設計・建設工事、33年度に民営化・新園舎・保育開始とある。統合再築の新園舎の建設予定位置について、計画場所、基本的な考え方、課題・問題点は。
- ② 再編計画の基本方針では、“認定こども園化の推進”とある。竜洋幼稚園と合わせた幼保連携型認定こども園化にしなかったのはなぜか。併せて“幼保連携型認定こども園化”の基本的な考え方や将来、社会情勢の変化や少子化が益々進展した場合の幼稚園、保育園、こども園の在り方や方向性は。
- ③ 公立や私立を含む保育園や幼稚園が近接・隣接した場合、災害などの緊急時を含む相互の連携やその在り方は。
- ④ 「磐田市は“公立の園が多いので民営化を推進していく”」と聞きますが、将来的には、民営化をどの程度まで進めるのか、考え方や進め方、課題・問題点は。
- ⑤ 再編計画について理解を得るため、保護者、関係自治会、地域住民等への説明会の開催や開催時期は。

(2) 竜洋東保育園の認定こども園化

- ① 再編計画では、「竜洋東保育園は幼保連携型認定こども園化」とあり、平成30年度から移行とある。保育園枠、幼稚園枠について、定員・園児数や設定の考え方、課題・問題点は。
- ② 移行に向けた今後のスケジュールや保護者、関係自治会、地域住民等への説明会の開催や開催時期は。
- ③ 以前、竜洋東保育園では病後児保育を実施していた。病後児保育の復活の有無、課題・問題点、今後の方向性は。併せて磐田市の他園での病後児保育の実施の計画は。

(3) 竜洋幼稚園の給食

- ① 平成28年2月議会の一般質問の答弁で、「幼稚園児の給食のアレルギー対応について、今後は、栄養士等の確保や学校給食施設の整備等も含め、さまざまな観点から実施に向け検討していく」とあった。竜洋幼稚園の給食が“アレルギー未対応”から“アレルギー対応”に変わるのはいつ頃か、課題・問題点、今後の方向性は。

(4) 学習等供用施設竜洋会館（学供会館）の再配置計画

- ① 学供会館は、平成23年10月に公共施設見直し計画で“再配置の検討”が示された。学供会館の再配置計画の今後について、基本的な考え方と現状、課題・問題点、今後の方向性は。

(5) なぎの木会館の実施事業

- ① なぎの木会館は、“自主事業も少なくなり、寂しくなってきた”との声を聞く。改めてなぎの木会館の位置づけ、自主事業などの平成29年度の実施状況とここ数年間の実施状況の推移、評価、課題・問題点、今後の方向性は。
- ② なぎの木会館の設備や機器類等の老朽化対策の現状と今後の計画、課題・問題点は。